PBR LENDING

PORTOBELLO ROAD

事業概況レポート

2026年第2四半期
（4月-6月）

お客様からの信頼を、
未来の価値へ

01 代表メッセージ

信頼を積み重ね、次のステージへ

平素よりPBR LENDINGをご愛顧いただき、
誠にありがとうございます。

第2四半期は、サービス品質の向上と
お客様基盤の拡大に加え、
3周年記念感謝祭など
多くの取り組みを実施いたしました。

今後も、暗号資産の健全な発展に寄与するとともに、
お客様の豊かな未来を支えるサービスの提供に
努めてまいります。

引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。



PBR LENDING 代表取締役
奈良﨑 匡平

02 目次

01 代表メッセージ

02 目次

03 暗号資産ダイジェスト

04 暗号資産運用成果

05 ポートフォリオ ... 継続

06 ポートフォリオ ... 停止・終了 / 新規

07 ポートフォリオ ... 実業への出資

08 サービス ...PBR スタッフからのコメント

09 サービス ...PBR スタッフからのコメント

10 26-2Q まとめ

03 暗号資産ダイジェスト

PBR LENDING が取り扱う6種類の暗号資産の動向と注目ニュースをまとめて掲載。
四半期の各暗号資産を手軽に振り返られる暗号資産レポートです。

BTC/JPY

2Q増減率 **-12.1%**

6月に調整が深まり、ETF資金流出が焦点に

4月の反発後、6月に下落が強まりました。6月末の米ドル建て参考価格は約58,600ドルとなり、円換算参考価格は約1,083万円から約952万円へ、12.1%下落しました。

NEWS

6月5日：ロイターが、米国のBTC ETFからの大規模な資金流出を報道。
6月29日：Strategy（旧MicroStrategy）が、ドル準備金の確保などを目的にBTCを売却できる資本管理方針を発表。※売却を義務付けるものではありません。

ETH/JPY

2Q増減率 **-23.6%**

次期アップグレードの開発と財団の組織再編が進む

円換算参考価格は約33.4万円から約25.5万円へ、23.6%下落しました。開発面では次期アップグレード「Glamsterdam」の検証が進み、6月にはEthereum Foundationが新たな組織体制を公表しました。

NEWS

5月11日：Glamsterdamの開発用ネットワーク稼働など、検証の進展を公表。本番ネットワークへの導入完了ではなく、開発・検証段階の報告です。
6月23日：Ethereum Foundationが組織再編を発表。職員54人、約20%の減少を伴う新体制へ移行。

XRP/JPY

2Q増減率 **-20.6%**

企業財務・AI決済への対応拡大も、価格は下落

円換算参考価格は約213円から約169円へ、20.6%下落しました。一方、Rippleは企業向け財務管理でのXRP対応や、XRP Ledgerを利用したAI決済向けツールを拡充しました。サービスの機能拡張と、XRPの市場価格は分けて評価する必要があります。

NEWS

4月1日：Ripple Treasuryで、XRP・RLUSDを含むデジタル資産と法定通貨を企業の財務管理画面で扱う機能を発表。
6月9日：「XRPL AI Starter Kit」を公開。XRP・RLUSDを使ったAIエージェントによる支払いの開発を支援。

ADA/JPY

2Q増減率 **-38.9%**

産業連携が進む一方、価格は大幅に調整

円換算参考価格は約38.35円から約23.45円へ下落し、今回の6通貨で最も大きい下落率となりました。Cardano Foundationは、予算案への投票判断の公開や、ブラジルの産業教育機関との提携を進めました。

NEWS

6月9日：Cardano Foundationが、2026年のIntersect予算プロセスにおける投票判断と理由を公開。
6月25日：ブラジルのSENAI São Pauloと複数年の提携を発表。ブロックチェーン教育、産業向け実証、研究・企業利用の開拓を推進。

USDT/JPY

2Q増減率 **+2.4%**

比較時点のドル価格は1ドル近辺、円安で円換算額が上昇

米ドル建て参考価格は0.9990ドルから0.9984ドルへ小幅に下落しました。一方、ドル高・円安により、円換算参考価格は約158.59円から約162.36円へ増加しました。円換算での上昇は、主に為替の影響です。

NEWS

4月14日：Tetherが、利用者自身で秘密鍵を管理するウォレット「tether.wallet」を公開。USDTやBTCなどに対応。
4月23日：米当局との協力により、2つのアドレスにある約3億4,400万ドル相当のUSDTを凍結したと発表。

USDC/JPY

2Q増減率 **+2.4%**

銀行・AI決済向けの展開が進む一方、流通残高は減少

比較時点の米ドル建て参考価格はともに1ドル近辺で、円換算参考価格は円安により2.4%上昇しました。一方、Circle公表の流通残高は3月末の770億ドルから6月末の733億ドルへ、約4.8%減少しました。円換算参考価格の上昇と、流通残高の増減は別の指標です。

NEWS

5月11日：Circleが「Agent Stack」を発表。AIエージェントによるUSDC決済を支えるウォレットなどの機能を公表。
6月29日：BNY（バンク・オブ・ニューヨーク・メロン）がUSDC対応機能の追加を発表。報道時点での提供開始予定は7月末。

※ 表示している「増減率」は、レポート四半期期間の開始日と終了日の日本円換算値の増減率です。

04 暗号資産運用成果

当社の暗号資産運用に関する成績の増減率や年率換算値、通貨割合などを掲載。
四半期ごとの状況や変化をご報告するページです。

四半期成果

26-1Q結果
+3.4% ▶ +4.0%

前Q差：+0.6%

年率換算

26-1Q結果
+13.6% ▶ +14.8%

前Q差：+1.2%

基準との差

26-1Q結果
+0.1% ▶ +1.3%

前Q差：+1.2%

運用成果について

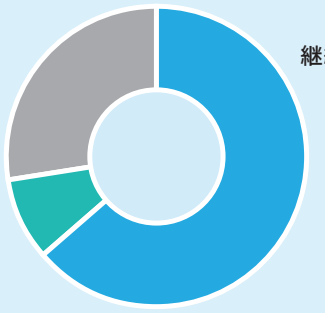
2Qの運用成果は+4.0%となり、1Qから+0.6%と増加を拡大しました。年率換算では+14.8%と、1Qから+1.2%と増加を拡大し、目標基準である13.5%を+1.3%と上回っています。月次では、4月+0.8%、5月+0.3%、6月+2.9%となり、6月の暗号資産市場急落局面にて成果を出す運用先が多く、2Qの伸長に大きく寄与しました。

運用通貨割合（概算割合）



2Qでは、XRPとADAのバランスを下げ、ステーブルコイン（USDT・USDC）の比率をやや高めて調整を行いました。

ポートフォリオ



非公開：3
継続：7
新規：1
途中停止：1（円グラフの構成比対象外）

パートナー数
11 ▶ 11
前Q差：0

1Qから引き続き11社構成ではあるが、1社の停止、新規が1社と運用先の入れ替えを行いました。

【現在審査中2社】
・韓国 クリプトファンドB
・日本 クリプト建て運用D

05 ポートフォリオ

出資・運用中のファンドの一覧です。運用通貨や四半期の成績、年率換算値などをご報告するページです。

継続

香港 クリプトファンドA

トレンド予測とテクニカル指標のトレード運用

2Q成果	年率換算	出資割合
+2.5%	+15.4%	★★★

6月の暗号資産値下がり時に月利1.5%を堅調に獲得。

日本 クリプト運用B

独自開発のアルゴリズムによるテクニカル中心の運用

2Q成果	年率換算	出資割合
+0.7%	+13.6%	★★

円安による為替介入の懸念、4月と6月は非稼働とし、安全運用を継続。

香港 クリプトファンドB

テクニカル指標による予測アルゴリズム

2Q成果	年率換算	出資割合
+0.3%	+12.2%	★★

4月-2.0%だったが、6月の下げ相場で改善し、2Q合計でプラスに転じた。

日本 クリプト建て運用C

独自のアルゴリズムで複数ポジションを個別利確

2Q成果	年率換算	出資割合
+3.0%	+12.0%	★★

【年利固定契約：月1%保証】7月に満期を迎えるため契約を更新。

韓国 クリプトファンドA

トレンド予測とテクニカル指標のアルゴリズム

2Q成果	年率換算	出資割合
+3.0%	+12.0%	★★

【年利固定契約：月1%保証】12月に満期を迎える。

ケイマン クリプトファンドA

独立したプログラム群のポートフォリオを適時最適化

2Q成果	年率換算	出資割合
+6.0%	+7.0%	★★★

1Qは-2.5%、4月5月も手数料負けしてマイナスとなったが、6月の値動きで大幅改善。

マレーシア クリプトファンドE

AIを活用した新しい仕掛けのイールドファーミング

2Q成果	年率換算	出資割合
+6.4%	+49.4%	★★

1Qだけで+18.3%の成果であったが、2Qは安定して＋6.4%と好稼働を継続。

06 ポートフォリオ

出資・運用中のファンドの一覧です。運用通貨や四半期の成績、年率換算値などをご報告するページです。

停止・終了

マレーシア クリプトファンドA

4通貨を高頻度スワップしたアービトラージ戦略

2Q成果	年率換算	出資割合
+1.4%	+6.8%	★

昨年5月から1年を終え最終実績が15.4%と基準値を上回ったが、
ツールメンテに時間を要するため一旦契約満了に伴い終了。

新規

台湾 クリプトファンドA

AIを活用した最新技術でのETH/USDTペアの先物取引

2Q成果	年率換算	出資割合
+2.6%	+5.2%	★★

6月には+2.4%と好成果を残し、8月までの3ヶ月で9%を記録（年利で28.5%）。
9月実施の検証会の結果を踏まえ4Qに増資を検討中。

07 ポートフォリオ

実業への出資について進捗を公開しています。出資に関する成果や、年率換算値などをご報告するページです。

実業への出資

日本 データセンター

初期開発フェーズ（土地・許認可取得等）への出資

2Q成果	年率換算	出資割合
+10.0%	+40.0%	★★★

一部の区画は整備が全て完了し売却契約も完了。残区画の整備を対応中。

日本 防災用品製造企業

3分の1に芯が縮む画期的トイレットペーパー製造

2Q成果	年率換算	出資割合
+0.9%	+3.6%	★

設備設置時に技術的な課題があり、修繕と計画を再設計した上で量産体制に移る。

日本 金 売買・海外採掘事業

金の保有・シエラレオネでの金採掘事業投資

2Q成果	年率換算	出資割合
-10.1%	-14.0%	★

円安が続くなか、為替介入への懸念から4月と6月は稼働を見合わせ、
慎重な対応を継続しました。

日本 銅採掘事業

銅を海外で採取し日本の資源確保に貢献する実業

2Q成果	年率換算	出資割合
+44.8%	+89.6%	★★

【テスト出資中】アフリカでの鉱区確保から採掘・選鉱・販売までを
一体で捉えたプロジェクト。8月末にテスト用元本回収完了。

08 サービス

PBR スタッフ、各部門からのコメント



暗号資産管理運用部門

暗号資産というと、ブロックチェーン上ですべてが自動的に処理される世界という印象を持たれるかもしれません。実際、入出庫の検知や残高反映など、多くの処理はシステムによって自動化できます。

一方、資産管理の現場で難しいのは、「想定していなかったこと」が起きたときです。通常とは異なる取引や、これまで見たことのない挙動が発生した場合、それが正常なのか、何らかの問題なのかを判断する必要があります。

そして、一度経験した事象について、その判断基準を整理し、ルールとして仕組みに組み込むことができれば、次に同じことが起きたときにはシステムで対応できるようになります。

このように、人が判断していたものを一つずつ仕組みに置き換えていくことで、自動化できる範囲は少しずつ広がっていきます。

資産管理の仕事をしていると、「どこまで自動化できるか」以上に、「どの判断までなら仕組みに任せてよいのか」を見極めることの難しさを感じます。



法務部門

法務コンプライアンス部門では、4月から5月にかけて、社内向けに情報セキュリティ規程の策定を進めました。昨年、お客様の個人情報が持ち去られるという事件があって以降、随所でセキュリティ強化を図ってまいりましたが、その一つとして、社内での情報の取扱等について、横断的な取り決めを作成しました。

対外的な動きとしては、6月からの「3周年記念感謝祭」において、紹介報酬制度を悪用したグループに対する対応という業務がありました。誠にさもしい話ですが、前回の「3周年記念感謝祭」では、取引所での口座開設時ボーナスを1か月間だけ弊社に貸し出し、1か月後に紹介報酬とともにすべて引き出すという動きを推奨し、不当に紹介報酬を得ようとするグループが現れました。契約約款に違反する利用方法でしたので、警告書をお送りするとともに、関係者らについてはすべて強制退会処分としました。

現在は、法人向けサービスの構築や、各種サービスの見直し、他の暗号資産レンディング事業者の出金停止問題への対処等の課題が山積しており、久しぶりに忙しくしております。



システム部門

4月から6月にかけて、システム部では日々のサービス運用や機能改善と並行して、「3周年記念感謝祭」の準備と運用に取り組みました。

プレゼントや特典に注目が集まるキャンペーンですが、その裏側では、お客様ごとに異なる貸出通貨やプラン、利用状況を踏まえ、対象となる特典を正しく判定する仕組みが動いています。今回も関係部署と連携し、「この場合は対象になるか」「この条件でも正しく反映されるか」といったさまざまなケースを一つずつ整理しながら、確認と検証を重ねました。キャンペーン開始後も運用状況を確認し、特典が適切に反映されることを確かめています。

こうした取り組みは、お客様から直接見えるものではありませんが、安心してキャンペーンにご参加いただき、サービスを「当たり前に使える」状態に保つために欠かせません。今回得られた知見も今後の施策に生かしながら、より便利で安心してご利用いただけるサービスを目指して、改善を積み重ねてまいります。



マーケティング部門

公式YouTubeチャンネルをはじめ、各種SNSやブログなどを通じた情報発信に、これまで以上に力を入れております。
発信体制の強化に伴いメンバーも増え、より分かりやすく身近に感じていただける情報をお届けできるよう日々取り組んでおります。

4月から6月にかけては、「3周年記念感謝祭」に向けたコンテンツや各種企画の準備が重なり、課内もまさに“てんやわんや”の毎日でした。多くのメンバーで試行錯誤を重ねながら準備を進め、無事に皆さまへお届けできるところまでたどり着き、ほっとしております。

皆さまからいただくコメントや温かいお言葉は私たちにとって大きな励みです。
日頃よりPBR LENDINGをご利用いただき、また温かく見守っていただき、本当にありがとうございます。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。



広報/CSR活動部門

4月、昨冬のキャンペーンでプレゼントの受け取りに代えて寄付を選ばれたお客様に代わり、622個の食料品を一般社団法人ハートリボン協会が運営する「みんな食堂（子ども食堂）」へ寄付いたしました。

皆様とともに笑顔の輪を広げる活動ができたことを嬉しく思うとともに、配付の様子を通じて、私たち自身も多くの学びを得る機会となりました。公式ブログで当日の様子をご報告しています。

また6月には、資産形成情報サイト「みんかぶ」に弊社代表のインタビュー記事が掲載されました。代表のお客様やサービスへ向ける情熱をきっかけに、「ぜひインタビュー記事で」とご提案いただき実現した記事です。どちらの記事もお時間のある際にご一読いただければ幸いです。

09 サービス

PBR スタッフ、各部門からのコメント



VIPクラブ運営

VIPクラブでは、一定の条件を満たされた会員様を対象に、通常のサービスに加えて、より充実したサポートやVIP会員様限定のサービスをご提供しています。

VIP専用の電話相談窓口での優先対応をはじめ、懇親会やご会食などの特別イベントへのご招待、VIP会員様限定の事業概況レポートのご提供のほか、通常会員様とは異なる特別条件やVIP会員様限定機能についてもご案内しております。

PBRをより身近に感じていただくとともに、より便利にご利用いただくための特別なサービスとなっております。



カスタマーサポート部門

4月から6月を振り返りますと、顧客管理課では日々のお問い合わせ対応に加え、さまざまな準備を進めてまいりました。中でも大きな出来事のひとつが、6月11日からスタートした「3周年記念感謝祭」です。

キャンペーン開始前には、多くのお問い合わせをいただくことを想定し、お客様からどのようなご質問が寄せられるかを考えながら、キャンペーン内容やご案内方法について事前に確認を重ねました。
開始後は実際に多くのお声をいただき、日々のやり取りを通じて、私たちにとっても新たな気づきや今後のサービスを考えるきっかけとなりました。

サポートチームへお寄せいただいたご意見やご要望は、担当部署にも随時共有しております。
「こんなキャンペーンがあったら嬉しい」「こんなプレゼントがあったら嬉しい」など、皆様からのアイデアもぜひお気軽にお聞かせください。

これからも皆様のお声を大切にしながら、より良いサービスにつなげてまいります。



デザイン部門

YouTubeショートの投稿開始は7月となりましたが、2Q期間中は投稿開始に向けた企画・制作を進めていました。レンディングの仕組みやサービス内容を、初心者の方にも分かりやすくお伝えするため、テーマや構成、台本の検討を行うとともに、「くまのよっしー」と「まちだくん」といったキャラクターを活用した表現や見せ方についても検討を重ねました。

また、難しく感じられがちな内容も身近に感じていただけるよう、キャラクターのビジュアルやシーン構成などにも工夫を重ね、親しみやすく、楽しみながら理解していただけるコンテンツづくりを進めています。

今後も、皆様にPBR LENDINGをより身近に感じていただき、暗号資産レンディングについて楽しく分かりやすく知っていただけるようなコンテンツをお届けしてまいります。

ぜひ、よっしーとまちだくんの今後の活躍にもご注目いただけますと幸いです。



バックオフィス部門

各種申請内容の確認や求人・労務、社内調整、出庫作業など、幅広い業務を担当しています。各種申請の確認を通して、スムーズな手続きにつなげることも大切な業務のひとつです。

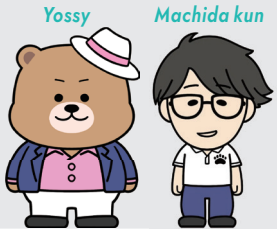
ほかにも、季節のお花やお菓子を用意したり、毎月お誕生日会を開いたりと、社員が楽しく働ける環境づくりも行っています。

日々の出庫作業では、7営業日以内の出庫とご案内していますが、現在は平均2営業日（今期は1.6営業日）で出庫しています。最近では「出庫が早くて安心できる」というお声をいただくことも増え、とても励みになっています。

これからも皆さまに安心してご利用いただけるよう、がんばります！

よっしー & まちだくん

PBR LENDINGをわかりやすく、楽しくお伝えするキャラクターです。 YouTube・X・Instagramに登場中！ぜひご覧ください。



@pbrlending

@PBRlending

@pbr_lending

10 26-2Q まとめ

もっとわかりやすく、もっと身近なPBRへ。

いつもPBR LENDINGをご利用いただき、ありがとうございます。私たちが大切にしたいのは、事業の成果だけでなく、お客様皆様の利益と共に、日々のご利用を通じて感じる「わかりやすさ」や「使いやすさ」です。一つひとつの体験を通じて、皆様の信頼に応えていきたいと考えています。本レポートが、数字だけでは見えにくいスタッフの工夫や思いにも触れていただく機会になれば幸いです。

2026年第2四半期は、暗号資産市場の調整局面が続くなか、当社の暗号資産運用成果は四半期で＋4.0%となり、前四半期を上回りました。6月に成果を上げた取引先が全体の伸びを支えています。また、取引先の入れ替えや通貨構成の見直しも行いました。結果の良し悪しだけでなく、その背景も丁寧に確かめながら、今後の判断につなげてまいります。

実業への出資では、データセンターの一部区画で整備と売却契約が完了した一方、設備の修繕が必要な案件や、マイナス成果となった案件もありました。順調なことだけでなく、課題についてもお伝えし、皆様に当社の状況をご理解いただける情報を届けていきたいと考えています。

サービス面では、6月に「3周年記念感謝祭」がスタートしました。貸出通貨やプランによって異なる条件を整理し、特典が正しく反映されるようシステムの確認・検証を重ねました。お問い合わせにもわかりやすくお答えできるよう、関係部署で準備を進めました。プレゼントや特典の裏側にある地道な確認も、気持ちよくご参加いただくための大切な仕事です。

今期の出庫対応は平均1.6営業日となり、「出庫が早くて安心できる」というお声もいただきました。また、社内の情報の取り扱いルールについても整備を進めました。手続きがきちんと進むこと、情報が適切に取り扱われること。そうした基本を大切にしながら、サービスを支える体制を整えてまいります。

情報発信では、YouTubeやSNS、ブログを通じた発信を強化するとともに、7月の公開に向けてショート動画の企画・制作を進めました。「くまのよっしー」と「まちだくん」も活用し、レンディングの仕組みを楽しみながら知っていただける内容を目指しています。詳しい方だけでなく、初めて触れる方にも伝わるよう、言葉や見せ方にも工夫を重ねています。知りたいことが、わかる言葉で届く。そんな身近な情報発信を続けてまいります。

そして、サービスを良くするうえで欠かせないのが、皆様からのお声です。お問い合わせの中でいただくご意見やご要望は、担当部署にも共有しています。温かい励ましはもちろん、使いにくさやご不便についてのお声にも、改善のヒントがあると考えています。「ここがわかりにくい」「こんな企画があったらうれしい」といったお気づきも、ぜひお聞かせください。お客様の視点に学び、これからの改善につなげてまいります。

4月には、プレゼントの代わりに寄付を選ばれたお客様のご厚意により、622個の食料品を子ども食堂へお届けしました。皆様の選択が、誰かの食卓や笑顔につながる。そんな温かなつながりを育てていけることも、私たちにとって大きな喜びです。ご協力くださった皆様に、あらためて感謝申し上げます。

これからも、成果はわかりやすく、課題には誠実に、日々の対応は丁寧に。画面の向こうにも人がいて、皆様のお声を受け止めていることが伝わるサービスでありたいと考えています。「PBRを利用してよかった」と感じていただける場面を一つでも増やせるよう、スタッフ一同、改善を重ねてまいります。今後ともPBR LENDINGをよろしくお願いいたします。

Thank You.